



「いじめ反対！」の意思表示をする行動の一つとして

校長 矢崎 真理

毎週末、マチコミメールにて「今週末も本校関係者に新型コロナウイルスに感染していることが確認されています。本日の時点で、学校内に感染が広がっている可能性が高い場合に該当しないことから、感染対策を徹底した上で教育活動を継続いたします。」に始まって、併せて「コロナ対策の取組の継続と、休み中の陽性反応についての学校への連絡のお願い」をお伝えしていますが、そこでもご理解いただいているように、学校内での感染が爆発的に広がっているわけではありませんが、感染高止まり傾向が続いております。

本当に誰がかかってもおかしくない状況において、学校はできる中での教育活動を継続していて、ご家庭の支援をいただくことで日々進んでおります。いつになったら収まるのか、先が見えない状況ではありますが、年度末の時期を迎え、いろいろなまとめをしていきたいところです。それぞれの学年・学級で取り組めることを工夫しながら過ごしています。ご理解くださいますようお願いいたします。

2月21日（月）に、テレビ放送にて、年間を通してお世話になっている学援隊の地域の代表の方々においでいただき、子どもたちからの感謝の手紙をお渡しました。児童代表のお礼の言葉をお伝えして、隊長の八木下さんから子どもたちへのお話をいただきました。今年度1年間あたたかく見守っていただいたおかげで、交通事故もなく、無事、登下校を安全に過ごすことができました。コロナ禍が続く、このような機会がめっきり少なくなっている中で、6年生を中心にしっかりと会を運営、進行する子どもたちの姿を見て、確実に成長していることを実感してうれしくなりました。ご参加くださった代表の皆様はもとより、岸谷小学援隊で日々活動してくださっている皆様、本当にありがとうございました。

そしてこれからも、岸谷小の子どもたちのことを見守ってくださるよう、よろしくお願いいたします。

それに先だって、朝会でわたくしから「ピンクシャツデー」についての話をしました。

ピンクシャツデーとは： 2月の最終水曜日に毎年設定されている、今から15年前のカナダで始まった取組。ハイスクールの男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校したところ「女のようだ。」「男なのにそんな色を着て。」とからかわれ、暴力まで受け、耐え切れずに家に帰ってしまった。それを聞いた上級生2人が「いじめをなくすために、行動を起こそう！」と考え、「学校にピンク色の物を身につけて登校しよう！」とメールなどで呼びかけた。翌日、呼びかけた人数よりもはるかに多い数百名の生徒がピンクシャツやピンク色の物を身につけて、学校中がピンク色に染まった。以来、その学校ではいじめがなくなり、それがカナダ全土から世界へと広がっていった。ということで始まった「いじめ反対！」の意思表示をする日のこと。

全校の子どもたちに由来を伝え「岸谷小学校はいじめを、しない、させない、許さない学校にしよう」という大切な取組の日なので、そのことをしっかりと捉えてほしい。」と話しました。

学援隊の町会長さんから「校長先生、初めて聞きましたが、いい取組ですね。いい話だ。」とおっしゃっていただきました。テレビ朝会から学援隊の皆さまにしっかりとご参加いただき、ありがたかったです。

2月の学校だよりでも伝えましたが、「自分がされて嫌なことは人も嫌だと感じるのだからしない」とか、「言っている・やっていること、いけないことの判断が正しくできる」など、いじめをなくすため、カナダの上級生のように「自分ができることを行動する」「アクションを起こす」ということが大切で、誰もが気持ちよく過ごせる学校を目指すことができる子どもがより多くなるよう、これからも豊かな心を育むための教育活動に、いじめをなくすために、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

今年度、いよいよ残り1か月となりました。ゴールに向かって、ぶれずに着実にがんばりますので、最後まで応援してくださいますよう、よろしくお願いいたします。

学援隊感謝の会

2月21日(月)に、学援隊感謝の会が行われました。雨の日も風の日も、暑い夏の日も寒い雪の日も、岸谷小の子ども達の安全を見守ってくださった学援隊の皆様へ、感謝の気持ちとして、メッセージカードと花束を贈りました。一年間、本当にありがとうございました。



学校保健委員会

今年度の学校保健委員会のテーマは、「運動してコロナウイルス感染症に負けない丈夫な体をつくろう」でした。2月9日(水)に予定されていた学校保健委員会は中止になりましたが、それぞれの学級で、今できることを目標に設定し、この一年で取り組んできました。取組内容は動画に撮り、テレビ放送で発表しました。



各学年の様子



【1年】ふゆとともだち

生活科で、冬の風を使って凧揚げを行いました。風が吹く方向や風の強さを考え、凧があがるように何度も挑戦する姿がありました。子どもたちは、「凧があがった!」「もっとあそびたい。」と、元気いっぱいに活動しました。春・夏・秋・冬と季節の変化によって楽しみ方が違うことが分かりました。



【2年】今年度最後の国際理解教室

パトリシア先生とマレーシアの「フルーツ」について勉強しました。日本では珍しいドラゴンフルーツやスターフルーツ、スネイクフルーツというものもあるそうです。マレー語ではおはようは「セラマツト パギ」さようならは「セラマツト ティンガル」というのだそうです。クイズも交えて楽しく学びました。



【3年】保健「からだのせいけつ」

保健の授業で養護の中島先生と一緒に「からだのせいけつ」とは、どんなことをクラス全体で話し合いました。その後、ブラックライトを使った手洗いの実験活動を行いました。普段からしっかりと手を洗っている児童も想像以上の洗い残しに大変驚きましたが、その後の給食前の手洗いでは、とても丁寧に手洗いする姿が見られました。



【4年】10歳を祝う会

4年生のみんなは、今年10歳になりました。そのことを記念して、3月に校内でささやかなお祝いをします。そのために今、「記念日」と「宝島」という合唱曲に取り組んでいます。心をひとつに声を合わせ、よい思い出づくりをしています。歌の発表は校内放送で行う予定です。この思い出を胸に、どんなに辛いことや苦しいことがあっても、夢や希望をもち、これからの人生をしっかりと歩んでいきます。



【5年】楽しい音楽活動

5年生は、音楽の学習のまとめとして、合唱「大切なもの」と合奏「ルパン三世のテーマ」の2曲に取り組んでいます。パフォーマンスを入れて、楽しいアレンジをしました。4月にはよいよ最高学年になります。音楽を通して、心をひとつにして残りの1か月を楽しみたいと思います。



【6年】卒業に向けて

6年生は、卒業感謝の会で合奏を披露します。曲は「A Whole New World」と「Sing Sing Sing」の合奏です。バラードやジャズの難しいリズムを毎日頑張っている練習をしています。動画に撮り、校内発表もする予定です。6年生の大迫力でダイナミックな演奏を、全校のみんなに楽しんでもらえれば嬉しく思います。



【5組】学習発表会の動画作成

コロナ禍以前に毎年2月に鶴見公会堂で行っていた個別支援学級の行事「学習発表会」の代わりとして、校内の児童及び5組の保護者に向けた動画を作成しています。今年度の主な内容は「思い出アルバム」と「合奏～世界にひとつだけの花～」です。自分たちで準備したり練習したりしてきた成果を、動画を通して発表できるようがんばっています。

阪神青柳選手からの寄贈本

阪神タイガースに所属している青柳選手から寄贈本が届きました。夢に向かって頑張してほしいという思いが込められています。図書委員会では、青柳選手コーナーの設置活動をしています。

学校カウンセラー来校日

相談を希望される方は、担当前田までご連絡ください。

3月10日(木) PM 14日(月) AM
24日(木) PM